

令和4年4月19日発行

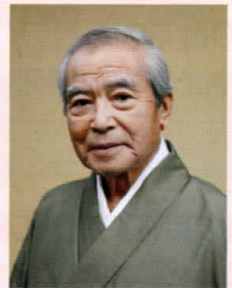
- 第23号 -



とも たの 偕に楽しむ

さらなる会の発展を祈って 会長 湊 正雄

平成18年(2006年)、水戸市内のボランティアグループ10団体が集まり、偕楽園公園を愛する市民団体を作らないかと出来たのがこの会です。会長は、当時水戸観光協会会長の和田祐之介さんです。私は副会長をお引き受けして「偕楽園を日本一の都市公園と梅園にしよう」と活動を始めました。平成梅林整備事業は途中で挫折しましたが、日本各地の大名庭園との交流を続けて参りました。平成25年に会長をお引き受けして今日まで参りました。



会長 湊 正雄

平成23年の東日本大震災では募金活動をし、「弘道館での論語塾」、「偕楽園・弘道館なんでも百科」の発行、「大名庭園サミット水戸大会」の開催等あっという間の16年でした。この間多くの皆様のご協力とご支援のお蔭で重責を果たす事が出来ました。

この3年、新型コロナ感染が拡大して活動もままなりません。このような時代ですので会長も若い方にバトンタッチして、新しい考えで活動も見直す時期かと思えます。本会におきましては、皆様には今後とも変わらずご支援、ご協力をお願いいたします。永年有難うございました。

とも 秋のウォーキング 青空のもとで偕に楽しみました



紅葉狩りウォーキング 出発を前にして

11月21日に開催した秋のウォーキングは、春のウォーキングと同じく晴天に恵まれました。イチョウの綺麗な県立歴史館敷地内の旧水海道小学校を見学し、係の方から説明を聞き、学びながらもみじ谷の美しい紅葉を楽しんだ後、偕に食べるお弁当の味は格別でした。

活躍する仲間たち(第1回)

この度、水戸と水をテーマに本にまとめた本会会員の西原昇治さん(井戸掘削専門家)に執筆に至る経緯や、完成までの思いを記していただきました。

「水がつくる自然 水戸の歴史と大地の泉」

西原 昇治

定年を僅かに残すところで会社を辞め、自営の井戸業を始めました。またその傍ら、経験を活かしたいと、観察会や講演会に積極的に関わったのです。講演資料作成などを積み重ねるうちに、冊子にまとめてはと、声をかけられました。井戸業を営む第二の人生の節目と、令和2年夏から資料をまとめ始め、冊子は自主出版とし、主に水戸市などの教育関係に寄贈してはと考えました。水がつくる自然環境をいくつかの項目に上げて、思いのまま文字に起こし編集、校正を重ね、発行は令和3年2月10日でした。

私が勤めた昭和40年代前半、基幹産業を支える水や地質の技術は草創期です。私は、良き先輩に恵まれ、大型プロジェクトなど、最先端の技術を要する現場で学ぶ事ができました。冊子はこれらの経験を活かして、人間と水の関わりを、現象、川、水戸の歴史、災害、井戸、の5項目に分けて解説、皆様の目線に立って冊子をまとめました。マスコミ報道の水問題、災害や身近な水の不思議等、解れば意外と単純な現象です。各項目に、水に関わる基本的な自然現象を書き留めました。「どうしてかな?」をこの一冊から、見つけては如何でしょうか。水は「重力と太陽のエネルギーで循環します」。ここから水について考えてみませんか。私の座右の銘は「大地の泉」です。



著書を水戸市に贈呈、高橋靖市長より感謝状を授与される。



水戸の歴史と笠原水道についてNHKから取材を受ける筆者

シリーズ「偕楽園の梅を知る(1)」

回答は根本実継さん(元偕楽園公園課樹木管理支援員)

質問 梅の木の手入れについて日々のご苦勞をお聞かせください。

根本 偕楽園のウメの特徴は、文化財庭園のなかの植栽で、歴史があり、古木が多いことです。しかし、白紋羽病菌、ならたけ病菌、木材腐朽菌などの影響でウメ古木は、樹勢が低下して枯損樹がでています。土壌病原菌類を撲滅する有効な手段はまだありません。そこで、「ウメ剪定改善と樹勢維持、後継木の作成と補植促進、ウメ樹の世代交代の円滑化」を次善策として実施しています。歴史ある公園のウメの樹勢を維持し、来園者の満足向上のため日々管理を務めています。



偕楽園公園の魅力向上を願って

茨城県との懇談会で本会の考えを伝える

令和3年度後半、湊会長が出席している茨城県の偕楽園景観検討委員会が、10月7日、12月9日に開催されました。12月9日の委員会には、湊会長より当会の見解をまとめた文書が提出されました。また、9月、10月には新聞を通じて、倒木した左近の桜に替わる幼木の植栽場所、好文亭西塗縁広間での飲食サービスについての懸念を表明しました。そんな中、県は11月から左近の桜復活のための寄付金を募る旨を突然発表しております。偕楽園景観ガイドラインは、令和4年度の早い時期に公表されると思います。当会の意見がどこまで県に届いているかわかりませんが、偕楽園の史跡名勝としての価値を守るため、粘り強く活動を進めていきたいと思っております。

魅力向上委員会 三ッ石 敏

会員研修会開催される

講演会「水戸市が行っている世界遺産登録の取り組みについて」



藤尾氏の講演会 水戸市国際交流センター 11月28日

本年度の会員研修会は、藤尾隆司氏(水戸市歴史文化財課世界遺産推進室世界遺産係長)を講師にお迎えして、水戸市が足利市、備前市、日田市の4市とともに進めている世界遺産登録の取組みの現状についてお話を伺いました。現在は、4市が日本遺産に認定されたテーマ「近世日本の教育遺産群ー学ぶ心・礼節の本願ー」を足掛かりに、登録につながる暫定リスト入りを目指しているとのことでした。本会としても市民レベルでの協力を今後考えていきたいところです。

広報研修委員会 林 和男

写真で紹介 偕楽園～ここを見て!

桜山駐車場と偕楽園本園を結ぶ梅桜橋からは、その名の通り梅林と桜が見渡せるスケール感のある風景が楽しめます。



梅桜橋から望む偕楽園と桜山(左)

活動報告

花パートナー 季節の花々に元気を貰っています。 魅力向上委員会

コロナ感染症を気遣い、個人での作業の時もありましたが、定例の活動日にはほぼ10名前後の参加がありました。コロナ禍が続きましたが、新しいメンバーも加わり、季節の花々に元気を貰い、癒されながらの1年でした。拡張部の花壇の草花も定着して参りました。来年度はさらに新企画を盛り込みながら進めてまいります。



花壇の手入れを終えて

朝活ヨガ&ポスチャーウォーキングで体と心を元気に 魅力向上委員会

令和3年度は延べ110名の方にご参加いただきました。一年のうちで最も気候の良い春から初夏は新規の方や散歩中の方が飛び入りでご参加くださり新しい出会いがありました。

また、梅雨時期は好文橋の下で雨に濡れないようにヨガをしたり、紅葉の時期はコースを変えてもみじ谷をウォーキングしたり季節に応じた活動を行いました。リピーターさんも多く、ヨガで体が伸びやかになる方や、歩き方が颯爽としてきた方など、皆様の継続による変化も嬉しい限りです。

朝活は毎月第3土曜日の6時半から窈窕広場で開催しています。参加費は無料。偕楽園公園で体と心を元気にしましょう。ぜひ、ご参加お待ちしております。



清々しい朝の空気を味わいながら

「弘道館やさしい論語塾」 リニューアル3年目を迎えさらに充実 論語委員会

本年度の「弘道館やさしい論語塾」は、昨年度と同じく、安岡定子先生、小塚のり子先生、小堀優先生を講師にお迎えして開催しました。4月3日の第1回目を皮切りに、途中コロナ禍による休講もありましたが、12月18日まで計7回実施をしました。参加された受講生の皆様もたいへん熱心に取り組み、また、子どもたちの一人ひとりの音読もあり、楽しく学ぶ様子が伺えました。



弘道館至善堂で開催した論語塾の様子

【論語塾参加！様の声】

論語塾に通わせて頂いて、おかげさまで10年くらいになります。我が家の長男ですが、現在高校一年生になりました。ビックリする事に論語を勉強したお陰で、なんと古典の学年順位が3番!!(現代文は100番くらいなんです…)この効果にただただビックリしてます。

活動報告

募集人数は限られるも楽しかった「秋の紅葉狩りウォーキング&偕に楽しむつどい」 交流委員会

毎年恒例の「秋の紅葉狩りウォーキング&偕に楽しむつどい」は、コロナ禍でもあるので募集人数を40名とし、11月21日に実施しました。二班に分けかつあらかじめ建造物説明パンフレットを持って歴史館ともみじ谷とを歩きました。見学する際、歴史館の職員のご協力により、あまり経験できない旧茂木邸や水海道小学校の中での説明をしていただきました。

慶応元(1865)年に米国で製造され、明治4年に輸入されたピアノが展示されており、ピアノの得意な会員が弾かせていただきました。また、時代時代の給食の展示があり「わたしはこの時代だった」などと話がはずみました。新しい試みとして、歩きながら豊かな自然の持つさまざまな表情を観察するネイチャーゲームをしました。さらにウォーキング終了後、野外での昼食をはさみ、偕楽園や水戸の歴史に関わる〇×形式のクイズもおおいに盛り上がりました。

なお、コロナ禍であったためバスによる研修旅行の実施は難しく、小石川後楽園および戸定邸への訪問は中止としました。



歴史館敷地内旧水海道小学校前で解説を聞く参加者

コロナ禍の中で確実な対応策を取りながら2回の研修を開催 広報研修委員会

本年度の研修事業は、コロナの状況を見ながら、会員を対象にした講演・講座をそれぞれ1回ずつ開催しました。11月28日、水戸市歴史文化財課の藤尾隆司氏を講師に「水戸市の世界遺産への取組みについて」の講演会は開催できましたが、会員自身が講師を務める「楽習会」はコロナ禍のため、先送りになり、結局中止となりました。ただ、3月19日の偕楽園梅の木の剪定枝を活用した「梅染め」研修会は、県内のコロナ陽性者数の減少を睨みながらなんとか開催することができ、改めて梅染めの魅力を知ることができました。



今年も梅染めで新しい発見ができた研修会 水戸市国際交流センター

本年度の活動計画

魅力向上委員会

1. 偕楽園の魅力向上を願って提案と協議・研修会の企画

提言の報告書をもとに、研修会の開催、行政・関係団体へ提言の実現に向けて提案と協議を継続していきます。

2. 「偕に楽しむ」春のウォーキング 新緑のなか散策し、かつ会員との親睦交流を深めます。

日 時 令和4年5月22日(日)午前9時集合 9時30分～11時30分

コース 吉田神社～薬王院～常照寺／集合場所 吉田神社駐車場／参加費500円

3. 花パートナー活動

本年度より、花壇の手入れに加え、偕楽園公園で楽しく交流する場をめざします。一般の方は勿論、子育てママ・パパさん、花好きな方、土いじりの好きな方も大歓迎!!月2回(第2月曜・第4土曜9:30～)

4. ヨガ・ポスチャーウォーキング

朝活は毎月第3土曜日の6時半から窈窕広場で開催しています。(参加費無料)。偕楽園公園で体と心を元気にしましょう!ぜひ、皆様のご参加お待ちしております。

論語委員会 - あなたの生きるヒントがここにある!孔子の教え「弘道館 やさしい論語塾」

開 講 4/2、5/7、6/4、7/2、8/6、9/3、10/1、11/5、12/3(いずれも第1土曜日)
午前10時30分～11時30分(4月2日の開講式は午前10時より実施)

講 師 安岡定子先生(特別講師-8月6日のみ)

小坪のり子先生(弘道館事務所主任研究員)、小堀優先生(元指導主事・小学校校長)

会 場 弘道館至善堂 ※8月6日のみ県三の丸庁舎3階(安岡先生の特別講座)

募集定員 弘道館-18名・県三の丸庁舎3階水戸生涯学習センター講座室-60名(8月6日)

参加費 ひとり500円 ※中学生以下無料 8月6日はひとり1,000円

対 象 一般市民・子どもと保護者・学生

交流委員会

多くの会員より要望がありました、初代水戸藩主徳川頼房が築いた小石川後楽園、および水戸藩最後の藩主徳川昭武が造った戸定邸へのバス研修視察、「秋の紅葉狩りウォーク&偕に楽しむつどい」を計画しております。会員同士の交流を深めるこれらの行事に奮ってご参加ください。

広報研修委員会

本年度も会の活動の活発化を目指した誌面作りを目指します。また、専門家を招聘しての会員研修会、会員を講師とした楽習会を計画しています。講師の推薦をよろしくお願いします。

◎委員の募集をしています。

あなたも関心のある委員になって一緒に活動しませんか!

編集後記

三年越しのコロナ禍ではありますが、本年度計画した事業はほぼ予定通り実施できました。コロナにひるむことなく、楽しく活動することができたのも湊会長の強いリーダーシップとユーモアあふれるお言葉のお陰です。長年にわたる湊会長のご尽力に深く感謝申し上げます。(K)

偕楽園公園を愛する市民の会 事務局

住所：〒312-0041 ひたちなか市西大島3-14-9 TEL/FAX：090-8563-5181

発行日：令和4年4月 発行：偕楽園公園を愛する市民の会

協力：(株)ロシナンテ ※当会へのお問い合わせは事務局まで